



写真左から磯邊さん、小松さん

8/25 花壇管理の功績に対して 道路功労者表彰を受けました

長年にわたる道路沿いの花壇管理の功績に対して、町内5団体が国土交通省などから道路功労者表彰を受けました。

一本松中学校は、中川地区の花壇で行っている花植えや草引きなどの活動が評価され、国土交通大臣表彰を受賞しました。今回、四国内で同賞を受賞したのは3団体のみです。

代表で表彰状を受賞した三年生の磯邊朋花さんは「花を植えた後、花壇がきれいになって一本松がとても良い地域だと思える」とやりがいを話し、同じく三年生の小松真子さんは「すぐ草が生えるので集中して素早く引いている。先生や地域の人からほめてもらったときに嬉しい」と苦勞とともに喜びを語りました。

町内で表彰を受けた団体は以下のとおり

国土交通大臣表彰

一本松中学校（活動場所：中川地区の花壇）

日本道路協会会長表彰

若宮会（活動場所：増田地区の花壇）

レインボー一本松 花部会（活動場所：広見地区の花壇）

四国地方整備局長表彰

ワイズ（活動場所：中川地区の店舗前花壇）

菊川フラワークラブ（活動場所：菊川地区の花壇）

あんなことや、 こんなこと—TOWNコミュ

本日!海日和!! vol.71 「誰が作ったの?砂のオブジェ」



ツメタガイの卵

10月4日は陶器の日らしい。陶の10はいいとして、器がなぜ4なのだろう。その理由は後で調べることにして、今回は「砂茶碗」と呼ばれている、海底のオブジェを紹介したい。

夏に砂地に潜ると、クルクルと巻かれた、リボンがあちらこちらに落ちている。強く握ると崩れてしまうが、そっと持ち上げることができる。実はこの中に、ツメタガイの卵がたくさん入っている。どのようにして、この形を作り上げるのか、いつも不思議に思う。

ツメタガイを知らない人がほとんどだろう。しかし、砂浜で小さな穴の空いた貝を拾った方は多いのではないだろうか。ペンダントにするのにちょうどよい丸い穴は、ツメタガイが貝の中身を食べるためにあけた穴である。

現代美術のようなオブジェを作り上げる砂の芸術家は、今話題の肉食系女子のようである。

(撮影地：瀬ノ浜)

愛南サンゴを守る会 西尾知照^{ともてる}



8/28 夏の夕べを子どもたちと一緒に 中浦納涼祭

旧中浦小学校で中浦納涼祭（同実行委員会主催）が行われました。会場には焼きそば、焼き鳥、綿菓子などに加え、金魚すくいやヨーヨー釣りも出店され、親子連れらが夏休み最後の日曜日を楽しみました。

フィナーレには花火が上がり、訪れた人たちを楽しませていました。

8/31 町内唯一のボウリング場が営業休止

愛南町で唯一のボウリング場として44年間に渡って住民に親しまれてきた「ボウルサンパール」が施設の老朽化や利用者の減少を理由に8月末で営業を休止しました。

「ボウルサンパール」は昭和47年に「娯楽のない地域に健全な娯楽を提供する」ことを掲げて開業。昭和48、49年のピーク時には競技ブームに乗って年間2万人を超える利用客で賑わいました。近年は人口の減少などから利用客が減っていましたが、四国西南地域で唯一のボウリング場として、宇和島市や四万十市などから通う愛好家もいました。

営業最終日の31日には最後の一投を楽しもうと大勢の親子連れらが訪れました。家族と共に訪



れた中田^{あやこ}絢子さん（船越）は「高校生の頃よく来ていた。無くなるのはやっぱり寂しい」と話しました。

運営するサンパール観光の岡田^{おさむ}治支配人は「長年利用していただいた多くの方々々に心から感謝したい」と話しました。なお、併設のホテルとレストランは営業を継続しています。

9/12 カットボランティアで地域貢献

南宇和理容美容組合（代表 吉村^{のりお}則男さん）では、敬老の日を前に、町内6か所の老人福祉施設でカットボランティアを行いました。この活動は、理美容師が仕事を通じて地域社会に貢献したいとの思いで続けられています。



吉村代表は「できることから少しずつをテーマに、組合のメンバーがいつも快く参加してくれていることが、今日まで継続できている原点ではないか」と話されました。また、カットしてもらった入所者からは「髪を切ってもらって、気持ちも健康になったよう」と喜びの声があがりました。

【参加された方々（敬称略、順不同）】

大西^{かよこ}加代子、幸田^{こうだ たつと}達人、久徳^{こういち}耕一、円城寺^{ただとし}正敏、
本多^{かずみ}計章、立花^{まさみ}昌実、岩井^{やすみ}安美、猪野^{ふさこ}房子、
稲田^{たかゆき}りえ、菊池^{ともお}高幸、山中^{ひろみ}知雄、吉田^{ひろみ}浩史、
鎌田^{じゅんこ}順子、立石^{たかこ}和子、船平^{たかこ}丘子、谷口^こヒロ子、
宇都宮^{えつ}悦、宇都宮^{のりこ}典子、宇都宮^{まき}真樹、吉村^{のりお}則男、
高橋^{ゆうき}祐樹、山本^{かずなり}一成、宮本^{せつこ}節子、二宮^{ふさみ}ふさ美、
藪下^{かつみ}勝美、末^{しの}弘信乃

9/12 海の安全願い 漁止祭り

柏崎地区で海の安全と地区の繁栄を願う漁止祭り（柏崎地区自治会主催）が行われました。

今年は、地区の氏神である岩神社が建て替え工事のため、集会所で神事を行ったあと大人が担ぐ神輿と子ども神輿が地区を練り歩きました。

盛大にもちまきが行われた後、漁船所有者のくじ引きが行われ、当選者には岩神社、由良神社、龍王神社のそれぞれの神社名を書いた幟とお神酒が渡されました。当選者は海に飛び込んで身を清めると、その幟を船首に立てて海上パレードへ加わりました。

高川一幸自治会長は「来年には神社も新しくなる。みんなで祭りを盛り上げていきたい」と話しました。



柏崎岩神社漁止祭り

享和三年（1803年）に柏崎のカツオー本釣り船が出漁中に鯨の群れに出会って転覆しそうになった際、漁師たちが氏神である岩神社に一心に祈り「8月12日には絶対に漁に出ないから無事に帰らせてほしい」と願いをかけた。すると波が穏やかになって無事に帰ることができた。以来、柏崎の漁師は8月12日はどんなことがあっても漁に出ないことを申し合わせ、氏神様へのお礼に麻糸を紡いで織りあげた幟旗を奉納したことにはじまる。今では柏崎地区全体の祭りとして旧暦8月12日に開催されている。



8/12 「宝くじ助成事業」で 宮太鼓等を整備しました

（財）自治総合センターの「平成28年度コミュニティ助成事業」の補助を受け、下久家地区自治会（西海）の盆踊りで使用する宮太鼓と太鼓台が新調されました。

この事業は、『宝くじの普及広報事業』として自治総合センターが受け入れた宝くじ収益金を財源として、住民が自主的に行うコミュニティ活動の促進を図り、地域の連帯感に基づく自治意識を盛り上げることをめざすもので、コミュニティ活動に直接必要な施設又は設備の整備を行っています。

9/13 特殊詐欺被害防止に役立てて

おれおれ詐欺や還付金詐欺などの特殊詐欺被害を防ぐことを目的に、あいなんバスに掲示する啓発用ポスターが愛南警察署から贈呈されました。

町内において予兆電話が相次いでいる現状を受け、山田あきと愛南警察署長と清水まさふみ町長は、安全安心な明るい町づくりに向けて今後も更に連携を強め、特殊詐欺被害の防止に努めていくことを確認しました。

